

<2017年8月20日 湘南レース・レポ> by 磯部

我らフォルタレーザチームが誇る日本一大きい名物バウマン、カトーさんが負傷したため、出場も危ぶまれたレースでしたが、当日までに計5名の勇者達が名乗りを上げ、無事完走を果たしてまいりました。

顔が広くて声もデカイ我がチームの免罪符カトーさんを欠いて、さて今日はどうなるものかと不安まるけ(名古屋弁)で若干怖じ気つつ集合時間の8時半に艇に着くと、既に勇者たちは集結。黙々と艀装を進めております。これはいかにも心強いと、先ほどまでの怖じ気が50%程解消されたところで艀装完了。各自、軽量化のためトイレへと向かい、艇の下架を待ちます。磯部はハーバーオフィスへ出向きレースエントリー手続を執りますが、のんびりレース時代も含め今回が初めてのエントリー手続。いつもカトーさんにお任せ状態だったのだなあ…と、猛省しつつ、スタッフの方に教わりながらエントリーシートを書き埋めました。事務所の皆さんがカトーさんの怪我をとっても心配されていましたので、カトーさん、早く安心させてあげてくださいね。

下架待ちの間にポジション確認。そうじゃなかろうかと思っただけでしたが、案の定、**バウマン経験者がいなあああいつ!!!**やべっ!しぼんだはずの怖じ気が再燃し100%に。キモが小っちゃいなオレ。

各クルーにポジション履歴を確認すると、どうやらスピンプールを一番最近触ったのは磯部であることが判明。以下のポジションで戦闘隊形決定。

スキッパー	G明
メイン・ジブトリム	しんのすけ・カナちゃん
コックピット兼タクティクス	50嵐
バウマン	不肖磯部(バウマンデビュー戦)

いざレース海面へと向かいます。

1~3m/sの穏やかな北風のレース海面には10時10分頃に到着。この風速ならなんとかなるかなと小心者のデビュー戦怖じ気度は60%位に。

コミッティ艇にチェックインを済ませ、全員で帆走指示書と戦術の確認。予告信号を待っているとコミッティ艇にL旗が上がったので、何事かと近づくと「マーク35° U旗を適用する場合あり」との通達。U旗ってなんだよ??と一瞬焦りますが、50嵐君が1分間ルールだと即答。心強いぞ!50嵐君!オレの怖じ気度は30%だ。(なかなか0%にはならない)

顔見知りの参加艇の皆さんと挨拶を交わしながらAP旗降下を待ち、20分遅れで予告発声。旗はP旗。いつも通りのルールだ。本部艇際でジャストスタートを決め、こりゃ行けるぜと喜んだのもつかの間、無情のゼネリコ。残念だったけど今のスタートはこれまでのレースで最高のスタートだG明君!次も頼むぜG明君!

11時05分第1レースが再スタート。今回も上側でG明君ナイススタート。リコール艇も無い。ライバルのZipang V、CORVATSCH II、バーバリアンはタックを返し右海面へ向かいますが、フォルタレーザは左海面を進みます。風速は変わらず1~3m/s。ヒールを作って上マークへ。

東に風が回りつつあるので、スタボーリングで徐々に右船団をゲイン。50嵐君と相談し、スピンはジャイブセットにチェンジしマーク回航に備えます。左選択が奏功しNクラスAグループトップで1上回航。マークをかわしたら即ジャイブして、さあバウマン初仕事。初島ダブルの練習を思い出しながらポールをリフトしてスピンハリヤードをホイスト！無事あがった！と思いきやアフターガイがバウスプリットの中を経由しており**ポールバックが出来ないっ！ま**ずい！再び怖じ気度 MAX！焦るなオレ！急いでアフターガイを引き直し直しトラブル解消。スピン展張無事完了。軽風だから対応できたけど吹いていたら大騒ぎでした。

下りは慎重にライン引き。1回目のジャイブも無事終えていよいよ下マークアプローチ。

2回目のジャイブからマークまで距離が短いので、まさかのキウイドロップを選択。ドキドキしながら初挑戦するも低速が緩いので案外スムーズにスピンを回収しバウハッチ収納。一旦各シートを解除して難なく完了。ちょっと拍子抜けするくらいうまく行って怖じ気度 20%まで急降下。よせばいいのに調子に乗り始めます。

グループトップをキープして2上の上りへと取りつきます。ふと後ろを見ると宿敵 CORVATSCH IIが3艇身ほど後ろに。CORVATSCH IIが左海面を目指してタックしたので、こちらもタック。同じシフトなら艇速は負けません。じわじわと引き離します。いいぞフォルタレーザ！ますます調子に乗ります。

2上もグループトップで回航し、いよいよラストの下り。なんとメルゲス 24 も置き去りの快走を続けています。凄いいぞフォルタレーザ！下りのプランは前回同様ジャイブセット。2回目なので余裕でしょ！とマークかわしてそれスピン展張！と思いきや、なんと今度はあろうことか**スピンハリヤードがフォアガイの三角の中を経由しているではないですか！**明らかにオレの気のゆるみ。明らかにオレのセッティングミス。磯部の真っ芯に思い切りバチが当たりました。やばいよやばいよと呟きながらシートを繋ぎ直します。背後では50嵐君の「落とさずぎないように落としながら走って」という有難いけど一瞬よく解らない指示がスキッパーに飛んできます。怖じ気度 MAX！本日3回目！自責の念も MAX！勇者達よ本当にすまない！すぐに直しますからあと苦闘すること数分間。やっと展張した頃はずいぶん遠回りしてしまい時間をロス。ああ～ダメだなと凹むオレ。周りを見回すとそれでもまだトップをキープ。あとは頼むぞしんのすけ。君のスピントリムが頼みの綱だ。

無口のオレを乗せてゆっくりとフィニッシュラインが近づきます。後ろをみるとIクラスが怒濤の勢いで迫ってきます。クラスが違うのでいじめないでねと願いながら最後のジャイブ。嗚呼このジャイブポイントならセッティングミスがなければ流し込めたかもしれないのに…と自責の念 200%。

そして何とかグループトップでフィニッシュ。間を置かずライバルたちがどこどかと流れ込んできます。バーバリアンは約4分後にフィニッシュ。船上で暗算し、あれ？もしかして修正でも勝った？とぬか喜びをしつつ、腹拵えしながら第2レースを待ちますが、風がなくなりN旗掲揚。本日のレース終了です。ホッとしたところでやっと怖じ気度 0%。勝ったから結果オーライってことで。(懲りていないオレ) さあ勇者の皆さん帰りましょ。

無事に帰着し艇を片付け、皆様お疲れさまでした。シャワーを浴びて、待合室でレーティングを確認しながら冷静に計算したら、**あ…バーバリアンに全然負けてるじゃん。**よくよく思い返すと暗算した時に10分を100秒に誤変換してました。こりゃもしかしたら3位、4位もあ

るかもと凹が凹凹なくらい凹みながら帰宅。

夕方、コミッティから成績表がリリースされたので見てみると修正2位。ホッと安心しますが3位 CORVATSCH II とは修正時間でたったの6秒差！やっぱり随分追いつかれていたんですね。カナちゃん！1%ボーナスありがとう！！お陰で2位になりました。

カトーさん抜きでしたが、何とか珍道中レースは終えることができました。(珍はオレだけか···) 次回9月3日のレースもカトーさんは来られないようです。(ケガのせいではないそうです) お読みいただいた皆さん、未熟なチームを助けると思ってぜひぜひ我等がフォルタレーザにご乗船ください。特にバウマン絶賛募集中です。

(とか言いながら、次回もバウマンやっちゃおうかなあと少し楽しくなってるDMなオレ)